

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300690
法人名	医療法人 三善会
事業所名	グループホーム 丸の内はとぼっぽ
所在地	宇和島市 丸之内 1-4-7
自己評価作成日	平成28年7月

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年7月25日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節毎の外出・外食は出来るだけすべての利用者の方が参加して楽しんでいただけるよう特に力を入れています。  
買い物にも利用者の方と一緒に掛けるようにしています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

外出を楽しみにしている利用者が多く、パンフレットやテレビを観て「ここに行かんのか」と言われるようだ。季節の花見と外食をセットにして出かける計画を立てており、利用者も楽しみにしている。外食は食べやすいメニューを選んだり、調理用ばさみを持参している。  
利用者が入院したことを機に、事業所から家族に頻りに連絡を取ることで、家族が利用者本人に関わることが増え、以前は利用者との折り合いが良くなかったが、関係性が修復したようなケースがある。祭りの踊りや牛鬼を近くの商店街まで見に行き、近所の方とおしゃべりしながら楽しんでおり、利用者は「また、来年も来たい」と言われるようだ。

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目: 28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム丸の内はとぽっぽ

(ユニット名) 青鳩

記入者(管理者)  
氏名 清水 素美子

評価完了日 平成 28 年 7 月 10 日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			「自分らしく暮らしたい」と理念があり共有して実践につなげています	
			(外部評価)	
			「お一人おひとりがその人らしく生活できるように応援します」という事業所理念を掲げ、ユニット理念をそれぞれに「自分らしく暮らしたい」「自由で楽しい生活」とつくって実践につなげている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			自治会に加入して活動したり、地域の学生や教会の方と交流したり、近所の美容室に訪問カットに来ていただいたりしています	
			(外部評価)	
			自治会に加入しており、回覧板を利用者と一緒にまわしている。又、クリーン活動には職員が参加して地域の方と一緒に活動している。昨年、自治会長に相談して、地域の方達に事業所見学を兼ねて、一緒に体操やレクリエーションを行えるよう回覧板で案内したが、今のところ参加者はいない。地域の高齢者の方が月2~3回掃除に来てくれており、一緒に食事したり、おしゃべりして帰られる。市内の高校生は、クラブ活動で作ったドリンクを水分補給に使っていただきたいと持参してくれた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			ホーム新聞を回覧したり、学生さんに一日体験学習をして、認知症の方の理解をしていただいています、地域全体にまで理解していただけていない状況です	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>活動報告をして、話し合いをしたり意見交換をしてより良いサービス向上につなげています</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は、ユニット合同の行事の日に合わせ、奇数月の第3金曜日に行っている。参加してもらえそうな家族に会議案内を送付しており、現在、2家族ほどの参加がある。会議では、行事・活動状況の報告、事故・職員の異動報告を行い、災害時の避難方法について話し合ったり、行方不明者が出た時の対応、連絡体制について確認し合っている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市の高齢者福祉課の職員に運営推進会議に参加していただいている、困り事等あれば相談できる関係を築けるよう取り組んでいます</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時に、介護保険制度について説明してもらった。2ヶ月に1回、介護相談員を受け入れており、利用者の話を聞いてくれている。市の担当者は、相談員の送迎をしており、時には相談員の代役もしている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束になる行為は理解しているが、職員が見守り出来ない時は本人の安全を考えて、お一人で外出されないよう、また転倒されないよう工夫しています</p> <p>(外部評価)</p> <p>ひとりで出かける利用者については、常に居場所の確認を行っており、スリッパには、事業所名と連絡先を大きく記入している。落ち着かないような様子の中には、散歩に誘ったり、本人の好きな童謡を聞いたり、アニメを見て気分を替えられるよう支援している。2階からひとりで降りてきた利用者がいたため、現在、2階の階段口に扉を付けている。今後さらに、利用者の立場で安全と自由の両面からケアのあり方を考えていってほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  言葉かけの失敗に反省したり、入浴時に身体チェックをして虐待が見過ごされることがないように努めています	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  研修で学んだ事を職員間で共有しています 以前は成年後見制度を活用していた方が居られましたが、今は必要とされる方が居られません	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時に説明させていただいているが、不十分で理解・納得が得られてない場合もあります	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  面会時に意見や要望をお聞きするようにはしていますが、利用者さんの要望全ては受け入れられていません  (外部評価)  毎月、ユニットごとの便りを作成して家族に送付している。又、運営推進会議録も同封している。家族来訪時には、利用者の暮らしのエピソードを話し、暮らし方への意見や要望を聞き取っている。運営推進会議に参加している家族から、「部屋に写真を貼るボードを使ってはどうか」との提案があり採り入れていた。	利用者の暮らしと一緒に支えるケアパートナーでもある家族が、認知症やケアについてさらに深く知ることができるよう、取り組みに工夫を重ねてほしい。事業所での活動に家族が積極的に参加できるように、場面や機会作りに工夫してほしい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 生活介助中やミーティングの時に出了意見や提案を管理者会議や代表に聞いて反映させている部分もあるが、全てではありません	
			(外部評価) 毎月のミーティング時は、職員が意見を出す機会になっている。ケア等についての提案は、まずは試してみることにしている。利用者の情報は、口頭、及び、伝達ノートに記録して、職員間で共有しており、介護日誌にはなるべく利用者の言葉をそのままに記録することに努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 認知症の方の対応と重度化されてきた方への対応が重なり、職員が心身共に疲れてきていますが精一杯努力しています	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修を受ける機会があります	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 他施設を訪問させていただいたりしていますが全ての職員ではありません	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ご自宅訪問させていただいたり、見学時に本人が困っていることや不安に思っていること要望に耳を傾けて少しでも安心していただけるよう関係作りに努めています	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族との話し合いの中から、困っていることや要望等に耳を傾けて関係づくりに努めています	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ホームでの生活に慣れていただきながら必要としている支援を見極めるよう努めています	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 介護者も家族の一員だという意識を大切にすることができることを一緒にいき、助け合いながら生活しています。共通の喜びを見出していけたらと思います	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 病院受診や外出をご家族にも協力していただきながら、共に支援していく関係を築いています	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) かかりつけの病院や馴染みの美容院へ行けるよう、今までの関係が途切れないよう支援しています。またいつでも面会に来れるようなあたたかいホームの雰囲気作りに努めています (外部評価) 利用者が入院したことを機に、事業所から頻りに連絡を取ることで、家族が利用者本人に関わるが増え、以前は利用者との折り合いが良くなかったが、関係性が修復したようなケースがある。祭りの踊りや牛鬼を近くの商店街まで見に行き、近所の方とおしゃべりしながら楽しんでおり、利用者は「また、来年も来たい」と言われるようだ。近くの美容室から美容師が来てくれており、利用者のカット等をしてきている。利用者からの希望で行きつけの美容室に職員が付き添うケースもある。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者同士が良好な関係を築けるよう席の配置を工夫して、出来るだけ支え合いながら生活していけるような支援に努めています
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	退所された後も様子を見に面会に行かせていただいたり、できる限りの相談・支援に努めています
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	言葉や表情の中から個々の思いや意向の把握に努めています
			(外部評価)	
			入居時、センター方式のアセスメント様式に沿って家族から情報を聞き取っている。介護記録には、利用者の言葉をそのままに記録しており、スタッフ会で思いや意向について話し合っている。利用者が以前よく利用していた飲食店の方からメニューの好みを聞き、本人の誕生会の折に採り入れたような事例がある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	入所前の見学や相談時を含め本人やご家族のお話の中から今までの生活歴やサービス利用の経過の把握に努めています
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	お一人おひとりの心身の状態や持っている能力の把握に努めています

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その人がその人らしく暮らしていけるようにどう支援して行けば良いか、本人の暮らしの中からまたご家族の方には面会時に相談していきながら、そして全職員の考えを反映しながら介護計画を作成しています</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>9マスシートを用いて、すべての職員で本人のできること出来ないこと等を記入し、話し合っって介護計画を作成している。家族の来訪時を捉え、意見や意向を聞くが「任せる」と言われることが多い。介護計画内容には、洗濯物のハンガー掛けやメモ紙作り等、本人ができる事を採り入れるようにしている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別記録や申し送りノートで職員間の情報を共有して実践や介護計画の見直しに活かしています</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>一人ひとりがその時のニーズに応じて外部のサービスを受けることができるよう可能な限り柔軟な対応に努めています</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりがその時のニーズに応じて外部のサービスを受けることができるよう可能な限り柔軟な対応に努めています</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>散歩に行きご近所の方や学生さん達とあいさつを交わしたり、行きつけの美容院にお連れしたり、買い物に行ったりして心豊かに暮らせるよう支援しています</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>散歩に行きご近所の方や学生さん達とあいさつを交わしたり、行きつけの美容院にお連れしたり、買い物に行ったりして心豊かに暮らせるよう支援しています</p>	
			<p>(外部評価)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医のある方はご家族の協力を得て受診されている方が居られますし母体クリニックで診ていただきたいと変更される方も居られます。できる限り希望にそって受診できるよう支援に努めています</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>協力医の往診が月2回あり、急変時にも対応してくれる。かかりつけ医の受診は、基本は家族が付き添うことになっているが、事業所での生活等について説明が必要な場合は、職員が同行している。表情が乏しい状態にある利用者について、医師と相談しながら薬を調整しているケースがある。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>バイタルチェックや様子観察をして体調に変化があれば看護師に相談し、母体クリニックへ報告してもらい必要に応じた病院を受診できるよう支援しています</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入院時は職員ができるだけ顔を見せて本人が安心して治療を受けられるよう支援し病院関係者に状態の報告をしていただいたり、退院後の注意事項を教えていただいたりして関係作りに努めています</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時は職員ができるだけ顔を見せて本人が安心して治療を受けられるよう支援し病院関係者に状態の報告をしていただいたり、退院後の注意事項を教えていただいたりして関係作りに努めています</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>開設時から4名の利用者の看取り支援を行った事例がある。入居時、利用者の終末期のあり方について家族から希望を聞き、事業所からは、「胃ろうになったり吸引が必要になったりした場合はホームで生活できない」ことを説明している。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所時からの話し合いはできていませんが、本人から終末期の迎え方をお聞きしたり、状態に応じてご家族と相談しながら本人やご家族が望む暮らしが出来るよう支援に努めています</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>開設時から4名の利用者の看取り支援を行った事例がある。入居時、利用者の終末期のあり方について家族から希望を聞き、事業所からは、「胃ろうになったり吸引が必要になったりした場合はホームで生活できない」ことを説明している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年に一度の救命救急講習に参加して、急変時や事故発生時の初期対応の実践力を身につけています	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練をいつも夜間想定で行い、利用者が避難できる方法を身につけるよう努めています。地域との連携体制はできていませんが運営推進会議で助言をいただいたりしています。 地震があった時などに入居者の方々の無事を確認くださる地域の方も居られます (外部評価) 年2回夜間想定で避難訓練を実施し、内1回は消防署の協力を得て行っている。訓練時には、職員が利用者に声を掛けながら誘導したが、声をかける順番についても検討が必要なが分かった。県主催の土砂災害避難訓練(裏山の土砂災害想定)に参加し、運営推進会議で意見を聞き、避難場所を検討した。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) お一人おひとりの誇りやプライバシーを損ねないよう気をつけているつもりですが、忙しさの余り言葉かけが強くなってしまふことがあり反省する時もあります (外部評価) トイレ誘導時や忙しくなると声が大きくなることがあり、職員同士で注意し合っている。回転寿司に外出に出かけた際には、利用者が自分で注文できるように支援している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己決定し易いように選択枝を提示して選んでいただいたり、行動や表情から思いをくみとるように努めています	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 見守りや介助を必要とされている方が多くいらっしゃる中で、どうしても時間に追われ、職員の都合になってしまい一人ひとりの希望にそえていない時があります	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 普段からその人らしいオシャレができるよう支援していますが外出時念入りにオシャレしていただいています	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) できる方には台所のお手伝い・配膳や片付け等を職員と一緒にしています。一人おひとりのアレルギーや好き嫌いに配慮した献立作りに努めています	
			(外部評価) メニューは、その日調理を担当する職員が決めている。移動販売車が来た時に、利用者が食材を選んだり、買出しにも行けるよう支援している。利用者の苦手なメニューがあれば、別メニューで対応したり、誕生日には、本人の好きなメニューでお祝いをしている。果物やネギを切る等、利用者のできることを行えるよう支援している。調査訪問時、食事介助は、まず、「ご飯ですよ」と声掛けし、目の前にすくったものを見せてから口に運んでいた。口に入れる量も確認し、次に食べたい物も聞ながら介助を行っていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ご病気がある方の食事量を少なくさせていただいたり、毎食時やおやつの際の水分を摂っていただけるよう工夫しています	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) お一人おひとりの能力に応じた声かけや見守り介助を行い、口腔内の清潔が保てるよう支援しています	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>トイレ誘導や介助が必要な方には排尿チェックボードを設け、タイミングを計ったり、サインを見逃さずに誘導して気持ちよくトイレで排泄していただけるよう支援に努めています</p> <p>(外部評価)</p> <p>トイレは各ユニットに3ヶ所あり、その内1ヶ所は車いす対応になっている。トイレの場所が解らなくなる利用者の為に、トイレの入り口に「トイレ」「便所」と示し、洋式トイレの絵を貼っている。声掛けの必要な利用者には、排尿チェックボードで状況を把握して支援している。チェックボードを確認しながら声掛け支援を繰り返すことで、トイレで排泄できる回数が増えてきたケースがある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>薬だけに頼るのではなく、十分な水分を摂っていただいたり、散歩や体操を行えるよう働きかけて便秘予防に努めています</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自立されている方には希望にそって入浴が楽しめるよう支援しています。介助が必要な方の入浴は職員の都合になってしまっています</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々に週3回、午前中に入浴できるよう支援している。嫌がる方には声掛けを工夫したり、無理強いせず翌日にずらして支援している。入浴剤を利用したり、自分用の洗面器を準備している。一人で入浴する利用者が分かりやすいように、シャンプーには「あたま」ボディーソープには「からだ」と記していた。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>眠たそうにされている時や疲れている様子の時はお部屋で休むよう声かけをしたり、夜間眠れない様子の時は職員と話しをしたりして安眠できるよう支援に努めています</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の効能については理解して、分からない時でも確認することができるお薬表がありますが副作用については理解できていない薬もあります。服用後の状態の変化は常に見守り観察をしています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) お一人おひとりの能力に応じた声かけや見守り介助を行い、口腔内の清潔が保てるよう支援しています。またできる能力を活かして家事や買い物の役割を持てるよう支援に努めています	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望されている時や必要時には職員と一緒に出かけたり、ご家族にも協力していただいたりしています	
			(外部評価) 外出を楽しみにしている利用者が多く、パンフレットやテレビを観て「ここに行かんのか」と言われるようだ。季節の花見と外食をセットにして出かける計画を立てており、利用者も楽しみにしている。外食は食べやすいメニューを選んだり、調理用ばさみを持参している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご自分で所持管理できる方は買い物を楽しめるよう支援しています。また難しい方でも職員と一緒に買い物を楽しめるよう支援しています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話を取りついたり、希望があれば電話をかけて話ができるよう支援しています。また手紙を書ける方がいらっしやらないので希望があれば代筆支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 温度調節や調光に気をつけて快適に過ごしていただけるよう支援しています。また季節の飾りつけをして季節感を味わっていただきながら居心地良く過ごせるよう支援しています。	
			(外部評価) 玄関先はスロープと階段になっており、季節の鉢植えを飾っている。入口には、利用者が願い事を書いた七夕の笹飾りがあった。居間には、高校野球の組み合わせ表や手作りカレンダーを貼っていた。1階はウッドデッキ、2階はベランダがあり、洗濯物干し等を利用者と一緒に行っている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テーブルや椅子の配置を気の合った利用者同士で過ごしていただけるよう工夫し状態や状況に合わせて席替えを行っています	
			(外部評価) 馴染みの物を持ち込んでいただき、居心地良く過ごせるよう支援しています	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 転倒しやすい利用者はベッドを低くして対応したり、転倒防止マットを使用したりしている。冷蔵庫を持ち込んでいる方は、飲み物等を入れている。椅子とテーブルを用意している方は、座って新聞を読んでいる。写真が趣味の家族が、利用者の見やすい場所に家族写真を貼ってくれている。	
			(外部評価) 転倒しやすい利用者はベッドを低くして対応したり、転倒防止マットを使用したりしている。冷蔵庫を持ち込んでいる方は、飲み物等を入れている。椅子とテーブルを用意している方は、座って新聞を読んでいる。写真が趣味の家族が、利用者の見やすい場所に家族写真を貼ってくれている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーで廊下やリビングに手すりを設置して、居室やトイレは分かりやすいように大きな文字や絵で表してできるだけ自立した生活が送れるよう工夫しています	
			(外部評価)	